

各 位

いわて 3D プリンタ活用研究会代表  
公立大学法人岩手県立大学 i-MOS センター長 澤本 潤  
(i-MOS:いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター)

## 平成 27 年度いわて 3D プリンタ活用研究会第 3 回研究会の開催について

いわて 3D プリンタ活用研究会では下記のとおり本年度第 3 回の研究会を開催しますので、ご参加くださいますよう、お願いいたします。

なお、ご参加いただける場合は、2 月 8 日（月）までに、別紙申込書により申込み願います。

### 1) 開催日時

平成 28 年 2 月 12 日（金）13:00～（開場・受付 12:30～）

### 2) 開催場所

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 星雲の間(3 階)  
(岩手県盛岡駅前北通 2 番 27 号 TEL: 019-629-2601)

### 3) 開催内容

#### 1.基調講演 三次元造形技術の活用に関する先進事例等の紹介

◆13:00～14:05 基調講演① 株式会社ケイズデザインラボ 代表取締役 原 雄司氏  
テーマ: 3D デジタルツールによるものづくりのパラダイムシフトと少し先の未来予測

製品製作過程においても 3D デジタルツールの活用が身近になってきた今、設計から生産までのデジタルエンジニアリング技術に注目が集まっている。

3D データ活用によるアジャイル型のプロダクト開発やマス・カスタマイゼーション時代のものづくりの可能性を、ケイズデザインラボのプロジェクト事例を交えて紹介する。

◆14:10～15:15 基調講演② 株式会社キャストム 代表取締役 戸田 拓夫氏  
テーマ: 3D プリンター、金属素形法への驚きの展開

一般的な 3D プリンターで精密铸造や焼結の金型を作る方法や、3D プリンターで形にしたモノからシリコンゴムで型を作る方法を映像を交えながら説明する。

従来、大きなハードルであった金型費と金型製作日程を大きく削減することで金属の商品開発がより身近なモノになる事例を紹介する。

◆15:30～16:35 基調講演③ 株式会社 J・3D 代表取締役 高関 二三男氏  
テーマ: 金属 3D プリンターの基礎知識と応用事例

近年、金属 3D プリンターが急激に注目を集めてきているが、金属 3D プリンターには出来ること、出来ないことがある。本講演では金属 3D プリンターについての基礎知識と何が出来るのか、また活用事例について紹介する。

#### 2.一般講演 三次元造形技術の活用事例等の紹介

◆16:40～17:15 一般講演 FabLab SENDAI-FLAT 大網 拓真氏  
テーマ: 3D プリンターと市民工房

プロ・アマ問わず誰もがデジタル工作機器を使うことができる市民工房(メイカースペース)を運営している視点から、3D プリンターが民間に普及したことで立ち上がったプロジェクトの紹介。

また、使っているのは安価なローエンド 3D プリンターでありながらも、局地的/遠隔的に人々がつながる事で、単なる工作機械の制約を抜け出し、広がりを見せる DIY 文化の一端を紹介する。

3.交流会 17:30 ～ 桐の間 (3F) 会費 4000 円

#### 4.その他

会員企業による 3D プリンター関連の展示も予定しております。(株式会社アピール)

平成27年度 第3回 いわて3Dプリンタ活用研究会 参加申込書

会社・団体名		
所属・氏名	研究会 (出席：○、欠席：×)	交流会 (出席：○、欠席：×)

いわて3Dプリンタ活用研究会の会員でない団体様が、研究会への加入を希望する場合は、以下についても記載願います。

研究会に加入いただいた団体様には、研究会、研修会のお知らせを送付させていただきます。また、本研究会主催の研修会を優先的に受講いただけます。(年会費等は無料)

名称※1		
連絡先 ※2	案内状の送付先 (住所及び宛名)	住所： 封書の宛名：
	電話番号	
	FAX 番号	
	E-mail アドレス	

※1 団体として参加する場合は、団体名、個人として参加する場合は、個人名を記載願います。

※2 研究会の開催案内等の送付先等を記載願います。

岩手県立大学地域連携室あて

FAX 番号：019-694-3331

e-mail：3d\_printer@ml.iwate-pu.ac.jp

FAX の場合は本申込書を、メールの場合は、上記内容をメール本文に記載の上、送付願います。